

2005年12月26日

報道各位

住友金属鉱山株式会社

## 台湾における液晶ドライバー用実装材料の増強計画について

当社関係会社である「住友金属鉱山パッケージマテリアルズ株式会社」(本社:東京都立川市 社長:飯島亨 以下、「SMM-PM」)は、台湾 高雄市に立地する「台湾住鉱電子股份有限公司」(Sumiko Electronics Taiwan Co., Ltd. 以下、「SET」)において生産を行っている液晶ドライバー用の半導体実装材料である COF (Chip On Film) の生産ライン増設を図り、2006 年度中を目途に現在の SMM-PM グループでの生産能力を倍増することといたしました。

携帯電話の表示画面液晶やノートパソコン等に使われる大型 TFT(Thin Film Transistor)液晶へ実装されるドライバーIC の需要の高まり、さらに昨今の液晶テレビを柱とする薄型テレビ市場の活況といった状況を背景として当該半導体実装材料の需要は大きく拡大しており、今後も引き続き高い成長が予想されています。中でも材料基板となる銅・ポリイミドの層が薄く配線のファインピッチ対応や折り曲げ特性等に優れた COF の中長期的な成長は目覚ましいものになるものと予想されています。

SMM-PM グループにおける液晶ドライバー用実装材料は、関係会社である「大口電子株式会社」(鹿児島県大口市 社長:藤村賢二)および SET において、すでに COF および TCP(Tape Carrier Package)の生産ラインを設置・稼動済みであり、両拠点では現在フル操業を行っています。当該製品の今後のさらなる需要増、特に台湾における市場の立ち上がりを見込み、今般同地における生産能力の増強を決定したものです。

なお、増強を行う SET は SMM-PM の 100%出資会社であるシンガポール法人「Sumitomo Metal Mining Asia Pacific Pte. Ltd.」および SMM-PM グループ電子材料ビジネスの台湾市場における営業機能を委託しております「長華電材股份有限公司」(台湾高雄市 総経理:黄 嘉能) の出資による台湾現地法人です。

SMM - PM グループは、現在国内に 2 工場(3 法人)、海外に 7 工場(8 法人)を持ち、半導体用リードフレームにおいては約 15%という世界第一位のシェアを占めるメーカーです。今回の SET における生産ラインの増設により、台湾顧客を中心とする市場の旺盛な需要に対して安定的な供給能力を整備するとともに、品質や生産性、さらに顧客サービスの向上など企業パフォーマンスの改善を推進し、液晶ドライバー用実装材料のサプライヤーとしても市場競争力を高め、そのポジションを確固たるものとするべく努力してまいります。

(本件に関するお問合せ先)

総務部広報室 広報統括課長 高橋 雅史

TEL . 03 - 3436 - 7701

FAX . 03 - 3434 - 2215

以上

(参考資料)

1．住鉱電子股份有限公司（SET）の概要

- 1) 資本金 563,500 千台湾ドル
- 2) 出資者および出資比率 Sumitomo Metal Mining Asia Pacific 70%  
(同社はSMM-PMの100%出資会社)  
長華電材股份有限公司 30%
- 3) 本社所在地 台湾 高雄市 楠梓加工区
- 4) 総経理 C. S. Hung ( 洪 全成 )
- 5) 会社設立 1994 年 11 月

2．液晶ドライバー用実装材料増強の概要

- 1) 設備投資額 第一期 約 30 億円
- 2) 生産能力 現状 15 百万個/月  
増強後 30 百万個/月